

令和2年度 事業計画

この事業計画は、学校法人比治山学園中期計画に基づき、
令和2年度の事業計画について重点事業を中心にまとめた

① 法人事務局	1
② 大学・短期大学部	3
③ 附属幼稚園	7
④ 中学・高校	9

令和2年3月

学校法人 比治山学園

<学校法人比治山学園 法人事務局>

はじめに

学校法人比治山学園は、今年90周年に向けて新たなスタートを切りましたが、これまで建学の精神に基づいて、「悠久不滅の生命の理想に向って精進」し、社会の発展に貢献できる人材養成を行って参りました。

このような伝統と歴史を有する本学園が、少子化などの厳しい環境が続く中で、引き続き「選ばれ続ける私学」となり、社会の要請や期待に応じて持続的に発展していくため、比治山学園中期計画（平成28年度から平成33年度）を定めています。

この中期計画の終了年度1年前となる令和2年度の事業計画は、ビジョンの達成に向けて、重点計画を定め、具体的な取り組みを着実に推進していきます。

I 建学の精神

「悠久不滅の生命の理想に向かって精進する」人間を育成する。

II ミッション

教育基本法及び学校教育法に従い、悠久不滅の生命の理想に向って精進する豊かな愛情と科学的知性をそなえた心身共に健康な人間を育成するため、理事会のガバナンス機能の向上等を図り、評議員会と併せてその活性化を進める。また、学校法人として、各部門の責任感を持った運営を促進しながら、同時に、学校法人として統一感を持ったマネジメント機能の向上を図る。

III ビジョン

- 1 理事会が、そのガバナンス機能を適切に発揮し活性化している。
- 2 評議員会が、諮問機関としての役割を適切に発揮し、活性化している。
- 3 各部門が、部門ごとの責務を自覚したマネジメントが実現しているとともに、学校法人として統一感・一体感を持ったマネジメント機能が向上している。
- 4 開学80周年記念事業が円滑に実施され、新たに90周年に向けた取組がスタートしている。

IV 重点計画

1 理事会機能の活性化

- (1) ガバナンス機能を適切に発揮する理事会及び理事会運営(下部組織の在り方を含む。)の在り方の検討とその実施
 - ・各組織の権限と役割分担の在り方の検討とその結果に基づく組織体制づくり
- (2) 予算執行状況の進捗管理の継続実施
- (3) 積極的な情報公開の実施
- (4) 学園内部(理事・評議員・教職員間)の情報共有の推進
- (5) 理事研修の継続的实施
 - ・外部・内部講師による年3回程度の実施

2 評議員会機能の活性化

- (1) 諮問機関としての機能を適切に発揮する評議員会の在り方の検討
 - ・効率的な会議の進行方法・情報提供資料の在り方の検討
- (2) 理事・評議員必携の充実
 - ・前年度データの更新等

3 マネジメント機能の向上

- (1) 学園全体の収入確保・支出削減の取り組み推進
 - ・資金運用等収入確保と支出削減の具体的取組みの徹底
- (2) 学園全体の総合的な人事政策方針の検討
 - ・総人件費抑制，定員管理計画，教職員育成等の人事政策方針の検討，人事政策基本方針の策定
- (3) からまつ学寮の存続・廃止を含めた将来の在り方を検討する体制の構築
 - ・存廃の在り方を検討する体制の構築

4 学園創立90周年に向けた取組

- (1) 寄付金獲得強化方策の実施
 - ・寄付者顕彰制度の推進
 - ・受配者指定寄付金制度の活用推進
- (2) 「文化の祭典」の実施

<比治山大学・比治山大学短期大学部>

はじめに

急激な社会の変化，とりわけ超高齢・人口減少社会，情報化・国際化・グローバル化社会，労働集約型社会から知識集約型・知識基盤型社会，生涯学習社会など新たな社会が提起する課題に的確に応え，建学の精神・理念（「悠久不滅の生命の理想に向かって精進する」人間の育成）に基づき，人間性豊かで高度な専門性に裏打ちされた人材を育成し地域に貢献していきます。

令和2年度事業計画は，平成30年度に見直しを行った中期計画（平成28年度～平成33年度）の達成に向け事業を加速していくこととします。

I 建学の精神

「悠久不滅の生命の理想に向かって精進する」人間を育成する

II 比治山大学

1 ミッション

私たちは，建学の精神のもと，学生の教育に重点を置く大学として，豊かな人間性を培い，生きる力としての汎用的能力（自立・想像・共生・創造）を育み，深く専門の知識及び技能を身につけさせることにより，社会や時代の求める専門職業人を育成し，生命の尊厳と永続性という視点から，グローバル時代を見据え，地域と共生しながら，持続可能な社会の発展に貢献することを使命とします。

2 ビジョン

学生が主体的・能動的に学び，学内外から卓越した教育機関として評価される高等教育拠点となる。

広くて深い教養に裏打ちされた豊かな人間性を培い，汎用的能力（自立・想像・共生・創造）を育み，グローバル化し急激に変化する21世紀に求められる多様文化適応力を身に付けさせ，地域社会や世界の発展に貢献できる幅広い職業人及び専門知識を生かした専門職業人として，中核的人材を育成する。

III 比治山大学短期大学部

1 ミッション

私たちは，建学の精神のもと，学生の教育に重点を置く大学として，豊かな人間性を培い，生きる力としての汎用的能力（自立・想像・共生・創造）を育み，広く専門の知識及び技能を身につけさせることにより，地域のニーズに応える職業人を育成し，生命の尊厳と永続性という視点から，グローバル時代を見据え，地域と共生しながら，持続可能な社会の発展に貢献することを使命とします。

2 ビジョン

学生が主体的・能動的に学び，学内外から卓越した教育機関として評価される短期高等教育拠点となる。

広い教養に裏打ちされた豊かな人間性を培い，汎用的能力（自立・想像・共生・創造）を育み，地域社会に求められる職業的専門性を身に付けさせ，実践力を高めていくことのできる職業人材を育成する。

IV 個別ビジョン

- 1 教育改革ビジョン
- 2 研究活性化ビジョン
- 3 地域貢献ビジョン
- 4 国際化ビジョン

5 基盤整備ビジョン

V 具体的な事業計画

中期計画（平成28年度から33年度）に掲げられた個別ビジョンに基づく具体的な重点事業のうち、令和2年度に各担当部署が取り組む事業。（継続を含む）

中期計画重点事業

教育改革ビジョン

（教学）

＜教学委員会，学生支援室，教職指導センター，管理栄養士指導センター＞

- 1 大学教育再生加速プログラム終了後の発展的継続
 - ア AP 事業後の全学的な新組織の設置・運用
 - イ AL 推進機能の充実
 - ウ 学修成果の可視化機能の充実
 - エ 学習サポート機能の充実
- 2 本学の教育内容充実に向けた取組み
 - ア 成績評価の厳格化とGPAの活用
 - イ 教職指導センター機能の充実
 - ウ 管理栄養士指導センター機能の充実
- 3 高-大-社会の接続事業
 - ア 初年次教育の充実
 - イ 総合的な学習環境の充実
 - ウ 学修支援及び授業支援の充実
 - エ 大学内外との連携の仕組みづくり
 - オ 社会的・職業的自立に関する指導のための教育体制の整備

（キャリアガイダンス・支援）

＜キャリアセンター，キャリア支援室＞

- 7 学生を社会的・職業的に自立させるためのキャリア教育の充実
 - ア 就職支援の活性化と社会的自立への支援

（学生支援）

- 8 主体的な学びの意欲と強靱な心身の育成 ＜学生委員会，学生支援室＞
 - ア 課外活動の活性化
 - イ 食育の充実
- 9 「Me+Library」を含む図書館の充実 ＜図書館，図書課＞
 - ア 図書館設備の充実
 - イ 図書館の開館時間延長
 - ウ 地震による図書の落下防止対策
- 9-1 経済的に困難な状況にある学生への支援の多様化と教育的効果のある制度の創設 ＜学生委員会，学生支援室＞

ア 学生への多様な経済的支援

(入試広報) <教育広報委員会, 入試委員会, 入試広報室>

1 0 広島県内外のみならず優秀で志の高い入学生の確保につなげる仕組みの確立

- ア 広報による県外接触数増加 (志願者増)
- イ 入学者確保
- ウ 入試システム改革

研究活性化ビジョン

<総務室施設・研究・連携担当>

1 1 各教員個々の教育研究力向上と研究成果レベル向上, 研究活動成果発信の体制整備及び研究推進支援の充実

- ア 研究実施体制の整備・充実
- イ 研究成果の有効な発信

地域貢献ビジョン

<総務室施設・研究・連携担当>

1 2 大学諸活動の「見える化」推進による地域のニーズへの対応と学科の特性に応じ学生参加型地域貢献・連携活動の推進

- ア 地域へのシーズの積極的発信 (活動の「見える化」の推進)
- イ 地域貢献事業 (教育・研究) の推進
- ウ 地域貢献事業 (生涯学習) の推進
- エ 機能強化と体制整備

国際化ビジョン

<国際交流センター, 学生支援室>

1 3 国際化戦略 (①学生の海外留学促進, ②留学生の受入促進, ③教職員に対する国際化支援) により, 学内の国際化を図る。

- ア 国際交流センターを中心とした国際化ビジョン実施体制の確立
- イ 学びの多様性に応じた海外研修プログラムの開発
- ウ 留学生・短期研修生等, 海外からの受け入れ数の増と受け入れ体制の整備
- エ 教職員に対する国際化の支援
- オ 地域のグローバル化対応支援
- カ 留学生への経済的支援

1 4 海外研修プログラムの体系的整備

- ア 新たな海外研修プログラムの開発
- イ 高大接続教育連携プログラムの開発 (比治山女子高校・大学)

基盤整備ビジョン

(大学教育の質保証)

1 5 事務局業務の効率化と人事考課制度の実効性確保 <総務室庶務担当>

- ア 課業の見直しと再編

- イ 人事考課制度の確立
- 1 6 教学マネジメント体制の確立，P D C Aの実効性強化及びIR委員会機能の
 充実と確立 <運営戦略本部会議，学長室>
- ア 教学マネジメント体制の確立
- イ IR組織体制の充実
- ウ 高大接続改革に伴う大学教育改革の対応
- エ コンプライアンスの確保
- 1 7 収容定員確保のための教育組織の見直し <運営戦略本部会議，学長室>
- ア 大学・短大の一体改組計画

(施設整備・環境整備計画)

- 1 8 教育内容等に対応した施設整備，学生視点を重視したキャンパスや利便性の向
 上，学生生活を支えるための施設整備の充実。 <総務室施設・研究・連携担当>
- ア (耐震対策事業)耐震対策未実施の校舎の耐震補強,改築
- イ (キャンパス内施設・設備の再配置(最適化))学生視点を重視したキャンパスの
 利便性の向上
- 1 9 情報通信技術を活かした教育環境の整備，情報セキュリティ確保，機器更新，情報
 センター組織の確立 <情報システム室>
- ア 一般情報教室，CALL教室機器整備
- イ 特殊情報教室(Mcルーム，教材開発室等)整備
- ウ 情報基盤システム整備
- エ その他情報システム等整備

(広報，情報公開とアカウントビリティ)

- <運営戦略本部会議，学長室，入試広報室>
- 2 0 広く社会に対する積極的な大学情報の公開
- ア アカウントビリティを確保するための情報公開の強化
- 2 0-1 広報戦略に基づく効果的な広報の推進による本学のイメージ向上
- ア 公式ウェブサイトの改修・管理・体制の整備及び情報受発信の推進
- イ 大学広報の集約と推進

(財政基盤の安定と機動的な意思決定)

- 2 1 学納金収入確保と外部資金の積極的導入による大学経営基盤の安定
 <総務室財務担当>
- ア 補助金の獲得
- 2 2 機動的な意思決定のための全般的な運営体制の再構築
 <運営戦略本部会議，学長室>
- ア センター・委員会を含む運営組織の再構築

<比治山大学短期大学部附属幼稚園>

はじめに

附属幼稚園は、比治山学園の建学の精神の下”命を大切に作る心””感動する心””しなやかな心”を柱として、「いきいき・のびのび・どきどき」をモットーに、基本的な生活習慣・態度を育て、豊かな心情や思考力を養い、意欲や思いやりのある子どもを育てる。という使命の下中期計画（平成28年度～令和3年度）に基づき、以下のビジョンを掲げている。

*ビジョン

- (1) 大学・短期大学部の附属幼稚園として、先進的な教育・研究を実践すると共に、学生の実習と多様な研究協力の場を提供している。
- (2) 子育て支援事業を充実させ、地域になくはない園へと発展している。
- (3) 安心・安全、自然環境豊かな幼児教育の場として相応しい環境づくりに努めている。
- (4) 定員確保に努め、財政の基盤を確立している。

以上のビジョンを踏まえ、令和2年度については、事業計画を以下のように進めていく。

*事業計画

- (1) のビジョンにおける計画（昨年度に引き続き継続）
 - ・重点目標を掲げての研究の実施
 - ・英語活動の充実
 - ・ことばの力を育てる教育の実践（絵本の読み聞かせ活動を通して）
 - ・自然体験活動を通して科学性の芽生えや、豊かな人間性を育てる教育の実践
【身近にある自然の中（さくらの森、ビオトープ）で植物の移り変わり、生き物の生態から、季節の変化を感じ、遊びを通して生物学的・科学的な興味・関心が子どもたちの心に湧き上がり、五感を総動員させて「いきいき・のびのび・どきどき」感じたり、発見したりすることで学びに繋げる】
 - ・教職員研修の充実（カリキュラムの見直しを含む）
- (2) のビジョンにおける事業計画（昨年度に引き続き継続）
 - ・未就園児クラス・預かり保育の充実
- (3) のビジョンにおける事業計画
 - ・施設環境整備（南園舎保育室4室を強化ガラスに取り替える）
 - ・自然環境の整備（ビオトープの観察会の実施と維持管理）
- (4) のビジョンにおける事業計画（昨年度に引き続き継続）
 - ・広報活動の充実とオープンキンダーガーデンの開催
（未就園児親子来園の機会を実施する）

・ホームページの充実

(5) その他の事業

・令和3年度、3歳児の定員を60名から70名に改正し、3歳児のクラス編成を2クラスから3クラスにするための施設整備

【たんぼぼ教室への手洗い場の設置・ロッカーの設置・デン（小部屋）1か所の扉の設置】

*財政の基盤の確立と幼児教育の充実のため、より教職員の研修を重ね丁寧な教育を心掛ける。

<比治山女子中学・高等学校>

1 学校のミッション・ビジョン

(1) ミッション

- ① 「親心に応えて悠久不滅の生命の理想に向かって精進する」という「建学の精神」と「五訓」である「正直・勤勉・清潔・和合・感謝」を基礎に、心豊かな人間性を有する女性を育成する。
- ② 生涯にわたって、社会の変化に対応できる幅広い視野を持ち、グローバル社会に貢献できるための生き方・在り方について自ら考え、判断し、行動することができる女性を育成する。

(2) ビジョン

- ① 感性や社会性を身につける学びを通して、ひとりの人間としての確かな土台をつくりあげるとともに、生徒の学力を着実に伸ばし、高い進路目標を達成している。
- ② 学習活動、部活動、学校行事等を通じて、多様性を認め、自己の主体性を確立し、豊かな感性と感謝の心を兼ね備えた女性を育成している。
- ③ 比治山の女子教育のブランドイメージが高まり、生徒、保護者、教育関係者から信頼され存在感のある学校になっている。
- ④ 中期収支見込の黒字化に向け、経営改革の取組みを着実に進めている。

2 重点目標

- (1) 基礎学力の確実な定着と、それを基盤とした主体的、対話的で深い学びを実践し、更なる学力向上に取り組む。

ア 目標

- ① 中学校
 - ・基礎学力の確実な定着を図るとともに、伝統文化や豊かな自然体験を通して、しなやかな感性や思いやりの心を育てること。
- ② 高等学校
 - ・学業と部活動の両立を図り、卒業生全員が第一志望校に合格すること。
 - ・特進コース生の60%以上が国公立大に合格すること。
 - ・高い英語力、グローバルな視点や考え方、ICT活用能力を磨き、身につけること。

イ 具体の取組

- ① 授業内容・方法の改善
 - ・ペアワーク、グループワークなど主体的・対話的で深い学びを展開する。
 - ・到達目標を明示し、自己評価活動を取り入れる。
 - ・学力推移調査の結果分析を踏まえた個別指導の実施

- ・ICTの活用による授業方法の工夫
- ② 補習等の実施
 - ・長期休業期間中・放課後に、特進生を中心に、既習内容の応用力強化、受験対応力向上等を目的とした補習・補講を実施（全学年）
 - ・学力不振者に対する補充授業の実施
- ③ 学習合宿の実施
 - ・効果的な学習方法や学習習慣の定着、学習意欲の向上、学力の向上等を目的とした学習合宿を実施（高1，高2）
- ④ 教職員の指導力の向上
 - ・指導力向上を図るため、広島市教育センター研修をはじめ各種研修に積極的に参加する。
 - ・校内研究授業を深化させる。（各教科）
- ⑤ 進路意識の向上
 - ・授業や職場体験を通じた勤労観、職業観の育成
 - ・生徒、保護者への進路ロードマップの提示・共通理解
 - ・意識啓発のための講演会等の開催
スタートアップセミナー、キャリアスタディ、進路講演会、職場体験、大学模擬授業、受験体験報告会 等
- ⑥ 授業時数の確保
 - ・授業時数確保のため年間行事計画の内容の再整理
- ⑦ 特進，進学，英語の3コースの教育内容の特色づくり
3コースのカリキュラム・マネジメント
- ⑧ その他
 - ・進路検討会の開催などによる有効なサポート体制の構築
 - ・生徒の自学自習の場（学習室等）の整備

(2) 特色ある「比治山の女子教育」の推進

ア 目標

- ・海外研修旅行の実施
- ・グローバル化に対応した教育の充実を図ること。
- ・自然体験学習の継続，充実
- ・ICTの活用等による教育内容の特色づくりを進めること。
- ・比治山の女子教育の伝統を踏まえた規範意識を向上させること。

イ 具体の取組

- ① 海外との交流の活性化
 - ・姉妹校提携を行っている韓国大邱市の源花女子高校との交流促進（高1・2生が訪韓する）
 - ・オーストラリア短期留学の実施（高1英語コース）
 - ・ニュージーランドの受け入れ校との連携強化
 - ・高校での海外修学旅行（シンガポール）細案の検討

- ② からまつ学寮を活用した自然体験学習の実施
- ③ 中高大連携の推進
 - ・比治山大学との中高大連携の推進
- ④・i-P a dを活用した授業の導入
 - ・i-P a dを活用した授業内容・方法の研究・開発を進める。
 - ・i-P a d関係機器の整備，関係施設の整備・改修の実施
 - ・教職員のI C Tスキルの向上
- ⑤ 規範意識の向上
 - ・挨拶，時間厳守，身だしなみ，思いやりの心など，社会生活上の基本的なマナーを引き続き徹底する。
- ⑥ 地域との連携
 - ・中学校生徒会を中心とした学校の周辺地域の清掃活動（ひじっ子みゆにていくりん）の実施
 - ・文化祭，体育祭，定期演奏会等の学校行事を通して，地域との連携を深める。

(3) 志願者数，入学者数の確保

ア 目標

- ・中学校推薦入試入学者数50名以上，高等学校推薦入試入学者数120名以上
- ・中学校入学者数70名以上，高等学校（外部）入学者数180名以上

イ 具体の取組

① 比治山ブランドを高める広報の充実

- ・在校生のプレゼンテーション
- ・オープンスクール等の開催
小学生対象2回，中学生対象3回，小学生を対象とした個別行事（夏休み宿題勉強会など）
- ・ひじやまセミナーの開催（県・広島市等の教育委員会の後援名義を得て実施）
- ・ホームページの活用
本校への関心が高まるような内容を，タイムリーに掲載する。
- ・学校紹介リーフレットの作成
中学校，高等学校別に作成
- ・学校行事（体育祭，文化祭）での比治山ファンの醸成の取組
- ・部活動の成果等について積極的な広報に努める。
- ・入学前教育の検討・実施

② 学校関係者等への広報の充実

- ・塾対象説明会の開催
- ・学校訪問（中学校対象）の実施
- ・保護者対象地区説明会の実施
- ・私学協会フェスタへの参加
- ・姉妹調査，在校生姉妹対象入試説明会の開催
- ・同窓生子女優遇制度の拡充

- ・姉妹で転編入する者の受入拡大
- ③ 学校の魅力を高めるための施設整備
 - ・学校の魅力を高めるため、具体的な施設整備に着手する。(屋内練習場建築ほか)
- ④ 高等学校各コース(特進, 進学, 英語)の特色づくり
 - ・特色を生かせるようカリキュラム・マネジメントの徹底を図り, 高等学校各コースの特色づくりを進める。
- ⑤ 部活動の充実による学校の魅力アップ
 - ・中学校への強化指定クラブの導入, 文化・スポーツ活動特別推薦制度の活用などにより, 本校の部活動に対する評価を高め, 学校の特色づくり, 魅力づくりに資する。
- ⑥ 入試制度, 授業料等減免制度などの見直し検討
 - ・比治山女子中学高等学校への志願者増を図るため, 入試制度, 授業料等減免制度の見直し等について, 引き続き研究・検討を行う。国の就学支援金制度拡充に伴い授業料減免措置の見直しを検討する。

(4) 経営改革の取組み

ア 目標

- ・令和4年度に, 中・高の財政収支の現況・見通しを検証し, 今後の学校の在り方を検討する。

イ 具体の取組

① 支出

- ・平成28年度策定の経費節減計画に則り, 経費の節減に努める。
- ・シーリングを設定し, 予算を編成する。
- ・組織, 業務見直しを進める。

② 収入

- ・寄付金の募集など, 様々な収入増対策に取り組む。
- ・学納金の収入未済額の圧縮に取り組む。